



Chinkichi Toyama Memorial Award
for Food and Environmental Sciences

「遠山椿吉記念 食と環境の科学賞」 募集

- ◇対象：日本を拠点に活動する個人の研究者または研究グループ
- ◇応募書類：所定の応募・推薦用紙、受賞候補者略歴、業績一覧、原著論文
*原則として最近の業績（調査、研究、技術の開発など）を評価対象とします。
業績とは、過去10年間に発表された原著論文とします。
- ◇応募期間：2022年4月1日より6月30日（消印有効）
- ◇賞および副賞：賞状、記念品。副賞として300万円。
- ◇重点課題：『食品の安全、食品衛生、食品の機能、食品媒介の感染症・疾患、生活環境衛生』

詳しくは、東京顕微鏡院HPをご覧ください。

公衆衛生の明日を切り拓く、優秀な研究成果をご推薦、ご応募ください。

遠山椿吉賞とは、日本の公衆衛生において、人びとの危険を除き、命を守るために、先駆的かつグローバルな視点を持ち、地道に社会への貢献を追求する研究者（個人および研究グループ）を顕彰する賞です。賞は、「遠山椿吉記念食と環境の科学賞」と「遠山椿吉記念健康予防医療賞」の2部門あり、隔年で選考顕彰いたします。今年度は、「第8回食と環境の科学賞」を募集いたします。

*優秀な研究成果をあげており、これからの可能性が期待できる40歳以下の応募者（年齢は応募年の4月1日現在）に対し、研究の更なる発展を奨励することを目的として、山田和江賞を設け、顕彰します。

*山田和江賞の受賞は、将来の遠山椿吉賞の応募・受賞を妨げるものではありません。

3つの世紀にわたるあゆみ

2022年4月、131周年を迎えた東京顕微鏡院、こころとからだの元気プラザは、すべての人びとのいのちと環境のため、公衆衛生の向上に貢献しています。



1891年、東京顕微鏡院の前身「東京顕微鏡検査所」を創設。顕微鏡技術講習、飲料水等の検査を順次開始。



1907年：保健部を新設し健康診査と衛生相談を開始



1967年：職域の健康診断業務を開始（写真は現在のこころとからだの元気プラザ（神保町施設））



1975年：食品衛生検査所を開設（写真は現在の豊海研究所）



2003年：こころとからだの元気プラザを設立（当財団保健医療部門を統合・拡充し、独立）



2008年：創業者遠山椿吉生誕150年、没後80年を記念して、遠山椿吉賞を創設

一般財団法人 東京顕微鏡院 / 医療法人社団 こころとからだの元気プラザ

拠点：市ヶ谷本院、豊海研究所、立川研究所

拠点：神保町施設、元気プラザ細胞病理コアテクノロジー、市ヶ谷施設

東京都千代田区九段南4-8-32 〒102-8288 ●ホームページ <http://www.kenko-kenbi.or.jp> 一般財団法人東京顕微鏡院 公益事業室 03-5210-6651